

# 新生会看護部通信

2012.7.1発行 第35号

## 高齢者と家族支援Q&A

【医療社会事業相談室 室長 村地裕子】

今回は、医療社会事業相談室の村地裕子室長に、「高齢者と家族支援」について、質問に答えました。

### Q1

介護認定までに時間を有するため、現在、患者には早めに申請するように声をかけているのですが、どのタイミングで、介護認定を受けるように勧めていくのがベストですか？

A 本来はサービス利用が必要になった時に勧めます。しかし、近々(1ヶ月位)介護サービスが必要になる、あるいは生活に困ることが予測される時に介護保険情報を提供することで、問題に早期に対応できます。そのため、日常的に患者さんの生活状況の確認や困っている事がないだろうかという視点を持って、患者さんに接することが必要です。

### Q2

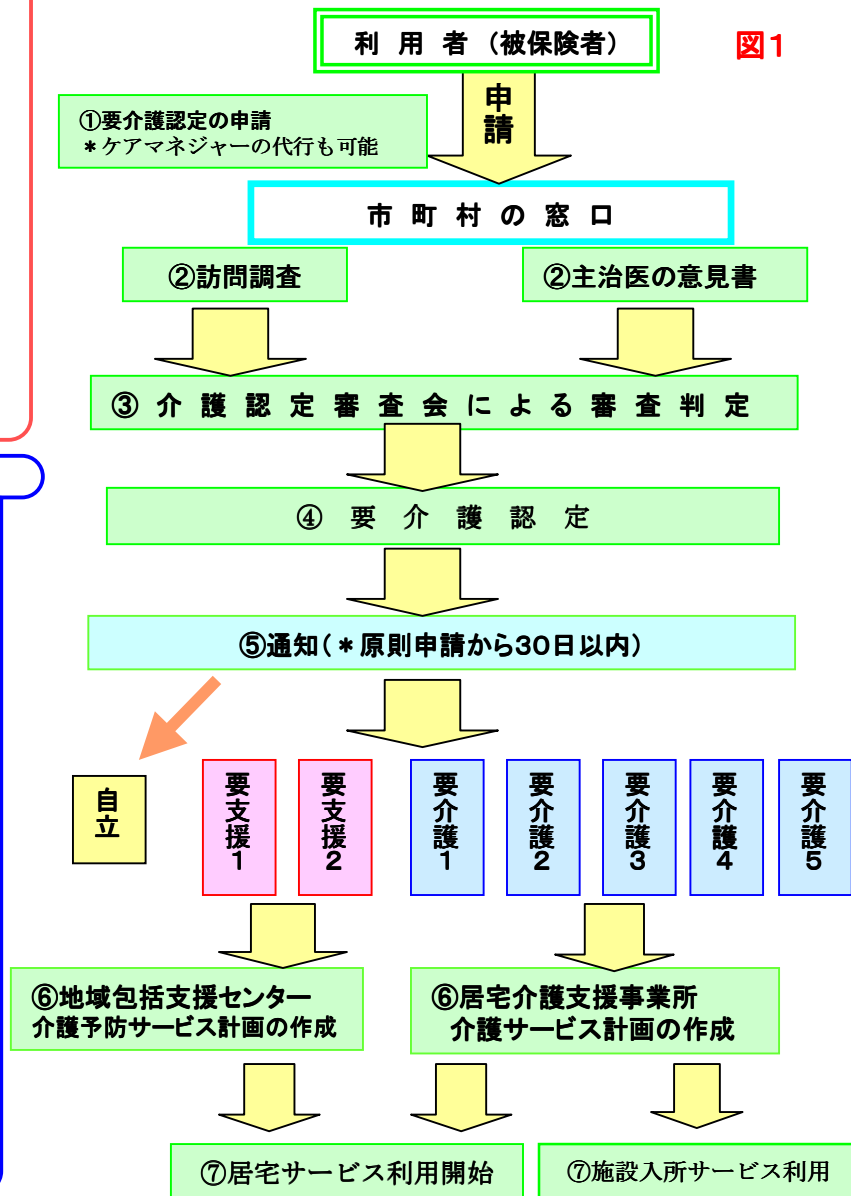
介護認定のレベルによって、受けられるサービスと負担額が違うと思うのですが、サービスの内容と、負担額を参考までに教えてください。

A 介護度は7段階あり、介護度によってサービス利用限度額(サービス量)が決まり、その範囲内で利用することが可能(保険給付される)です。サービス内容は多種にわたり、その負担額は利用状況によって異なります。例えば、介護タクシー(訪問介護)は要介護1以上の人しか利用できず、その自己負担額1割は1回約100円(通院等乗降介助)です。また、福祉用具で多く利用される介護用(電動)ベッドの貸与は原則要介護2以上の人を対象ですが、医師が必要だと判断すれば要介護2未満でも対象になる場合があります。

### Q3

介護認定がされていない患者で、家族がいる患者には、役所に尋ねるように勧めています。介護認定を受けたいと希望されてから、実際に社会資源を活用できるまでの流れを教えてください。

A 介護保険サービス(以下サービス)を利用できるまでの流れは図1の通りです。認定資格は申請日に遡りますので、緊急性がある場合等結果が出る前に暫定でサービスを利用することは可能です。



**独居の通院透析患者が自宅に帰れない状態になったときに、入院できる透析可能施設はどこですか、また、入院までの流れを教えてください。(経済的困難な場合など)**

**A** 社会的要因が主な理由で自宅生活ができない透析患者さんが、療養・生活する主な場所は以下の通りです(ここで言う病院とは有床診療所を含む)。

- ・透析設備がある一般病院・障害者病棟がある一般病院・医療療養病床がある病院
- ・透析病院を併設している介護老人保健施設
- ・有料老人ホーム(介護付・住宅型)やグループホーム

これらに入院入所できるかどうかは、患者さんの個別条件(病状、透析以外の医療行為の必要性や程度、経済状況、身元保証人の有無、生活保護利用者の場合は生活保護や自立支援医療指定の有無等)により、それぞれの医療機関・施設で異なります。

次に入院・入所までの一般的な流れは、以下の通りです。

**医療機関の場合**

希望医療機関に入院希望の連絡をする  
↓  
病院に診療情報提供書や看護サマリー、ADL等がわかる書類を送付する。  
↓  
本人や家族が面接に行く。  
↓  
受入れの可否が決まる。

**施設の場合**

希望施設に入所希望の連絡をする。  
↓  
家族や本人が施設に見学に行く(本人が行けない場合は、施設側から出向いて下さる場合も多い。)  
↓  
主治医に診断書を記載してもらい、施設に提出する。  
↓  
入所判定会議にて入所の可否が決定

【質問者 東海クリニック 小山内真智】

**新人看護師の仲間づくり**

【金山クリニック 中塚啓予】

サテライトである金山クリニックの新人看護師たちは、入職日も年齢も経験もみんなバラバラです。このような状況での新人看護師たちへの仲間づくりの取り組みを紹介します。

**【仲間作りその1：レクリエーション】**

- ・入職すぐにフロアー単位での茶話会
- ・新人と上司との食事会



夏は、ビアパーティー  
冬は、忘年会で新人グループも出し物披露

入職してすぐに茶話会があったので気持ちが和んだ



茶話会

**忘年会**

茶話会をしてもらった時、大切にされているなーと感じた



フロアーを超えた仲間作りができた

**【仲間作りその2：新人教育】**

- ・入職1年経過したら、患者疑似体験をしてグループワーク
- ・入職2年目に集合教育と体験を語り合う

体験を通して患者の気持ちが分かった



他の人の経験や不安な思いが聞けて、自分だけではないことが分かり安心した

★来た時はみんな透析1年生、どんなキャリアがあってもみんな同じ立場なので思いも一緒。そんな新人さん達への場づくりを意識しています。



# 高齢透析者の実態調査

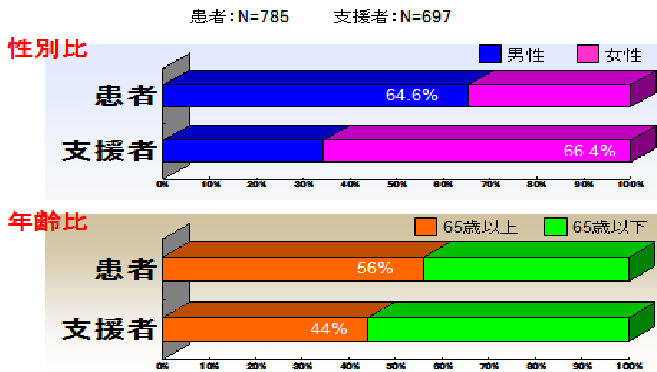
【新生会第一病院 浄化センター師長 牛崎ルミ子】

ホスピーグループ透析関連8施設の協力で通院透析者の患者・家族へアンケートすることができました。透析関連8施設の透析患者は、2010年11月で、1,054名中65歳以上が54.3%を占めていました。なお、通院透析患者は958名でした。通院透析患者及びその家族が抱えている問題を明らかにし、どのような支援を必要としているかなどに関する高齢透析患者とその支援者(家族)の実態を明確にする目的で調査しました。今回、**生活状況**、**負担要因**について報告します。

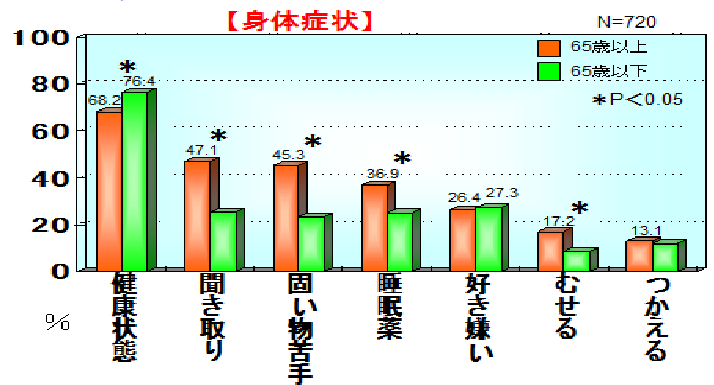
調査期間：2011年3～4月

回収率：通院透析患者82% 支援者77%

## 対象特性

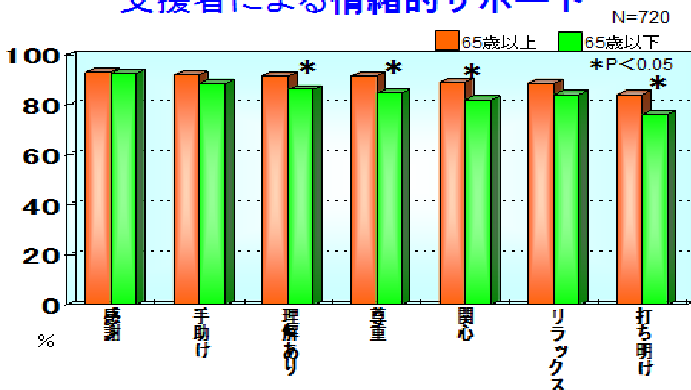


## あなたの生活状況で最も合うものは？



## 患者へ「あなたの主な支援者について」

### 支援者による情緒的サポート

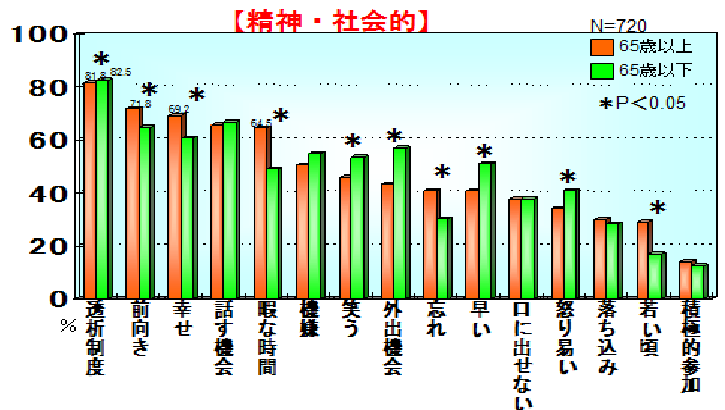


### 65歳以上の患者・支援者の負担感の比較

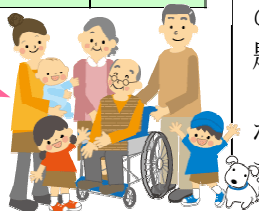
N=462  
Kappa係数：0.4以上が一致

項目	患者	支援者	Kappa
1 食事・水分制限	58.1	55.6	0.41
2 透析時間	45.9	49.8	0.36
3 身体的苦痛	31.8	37.3	0.27
4 精神的苦痛	17.2	18.9	0.25
5 通院	12.0	13.3	0.24
6 家族への配慮	10.3	6.9	0.13
7 経済的負担	4.3	6.4	0.20

## あなたの生活状況で最も合うものは？



この調査により、2012年度は家族支援プロジェクトをスタートします。



患者・支援者の一致回答者は462名でした。65歳以上の患者に対する支援者の負担感の一致状況は、食事・水分制限でKappa0.41と一致度が高くでした。ほぼ全ての項目で、患者・支援者の負担感は、同一順位でした。

負担感には、支援者が患者のことを透析時間、身体的・精神的苦痛、通院に苦痛と患者が感じている以上に、支援者の負担感が強く出ていました。全体的に差がみられなかった為、自由記述の具体的な負担内容から支援方法の検討が課題と考えられました。

これは、高齢になるに従い、支援者の健康状態など日常生活の援助提供の必要性を示唆していました。

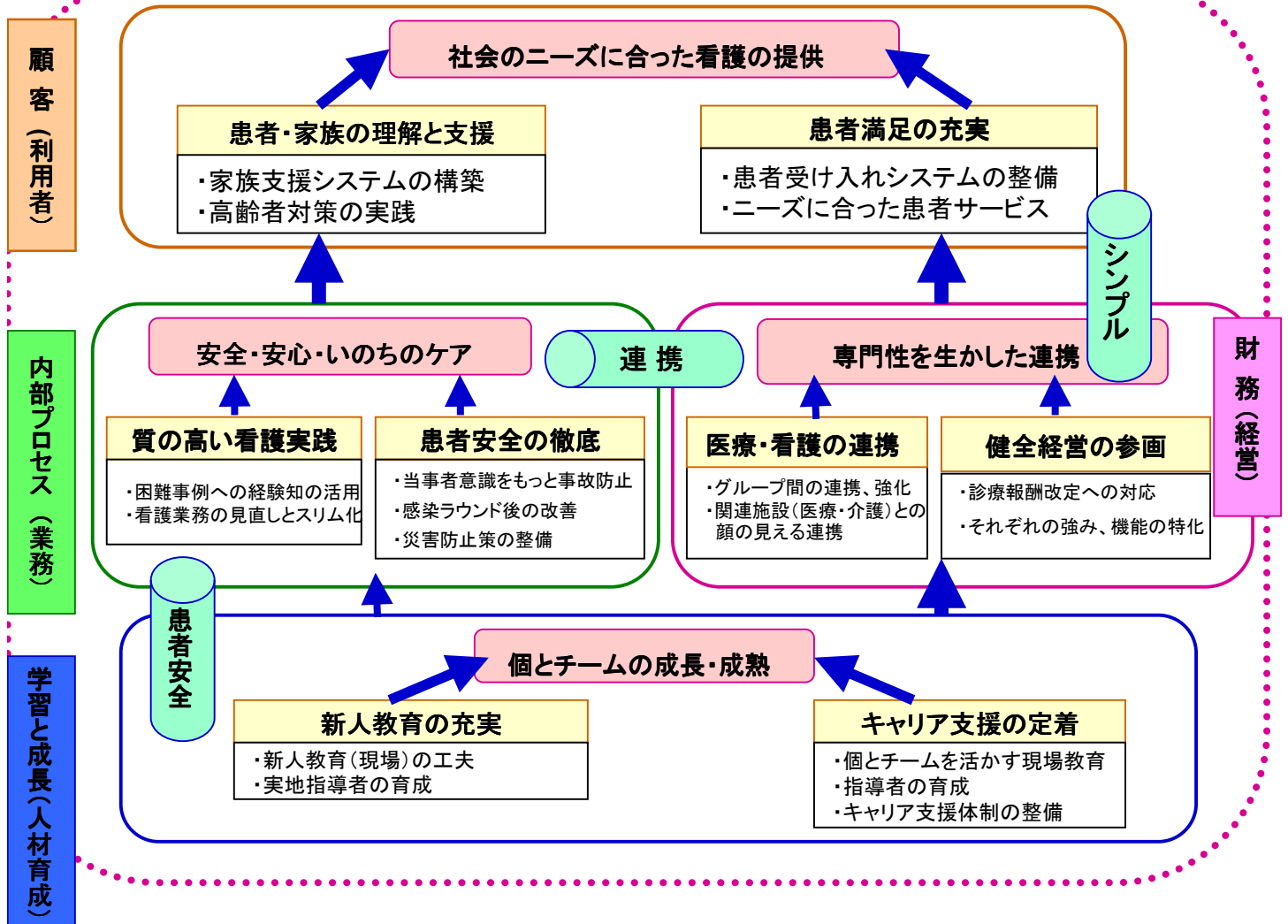


# 2012年度 新生会看護部の目標 戦略マップ

【新生会第一病院 看護部長 岡山ミサ子】

2012年度の新生会看護部の目標をもとに、副主任、主任、師長代理、師長たちの看護管理者たちによって戦略マップが作成されました。皆さん1人1人が目標実現に向かって活動していきましょう。

## 選ばれる病院



## いのちのケア

シリーズ5-

いやしと元気の出るアイテムを紹介では、高橋さんのいやし時間のおひとり様の旅・おすすめスポットを紹介します。

【東海クリニック 高橋麻弥】

私は、4年前に呼吸器の病気で入院、それからは、毎日有意義に過ごしたいと思い、休みの日は、一人で、日帰り温泉バスに乗り、その土地の美味しいものを食べ、自然を満喫しています。又、小旅行に出かけ、リフレッシュして、翌日の仕事への切り替えをしています。私のおすすめのスポットを紹介します。

### お薦めの旅行



沖縄県宮古島にある八重干瀬(やびじ)上陸体験観光ツアーに参加して普段は、海面下にある、年に2日だけの大潮には海面上に、さんご礁(リーフ)が現れ、大型船で「幻の大陸」に上陸が出来、町全体がお祭り化して、歓迎してくれます。

### お薦めの日帰り温泉

**奥飛騨温泉郷「ひらゆの森」** レトロな大浴場、入泉料安く、露天風呂が数多くあります。

**富士山の温泉「天恵」** 目の前に富士山が迫る絶好の景色が素敵で、見とれてしまいました。

**刈谷ハイウェイオアシスにある「かきつばた」** 高温に熱せられた陶炎炉にアロマ水をかけ、自発的に蒸発させ、水蒸気の熱波を発生させ、大うちわで扇いでもらい、発汗することで、基礎代謝UP、免疫力UPできますので「ロウリュウ」体験してみてください。癖になる爽快感があります。